

2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博） テーマ事業「いのちを高める」への協賛が決定

越前焼を含む六古窯日本遺産活用協議会は、このたび、2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博）のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現する上で重要な取り組みである「シグネチャーパビリオン」の中で、中島さち子テーマ事業プロデューサーが担当するパビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」に、サプライヤーとして協賛することが決まりましたので、お知らせします。

当協議会は、2025 年に大阪・夢洲の万博会場から未来社会の姿を発信するため、日本六古窯（越前焼・瀬戸焼・常滑焼・信楽焼・丹波焼・備前焼）の伝統と文化を通して、日本の伝統工芸と手仕事の魅力を高め、持続可能な地場産業の実現をめざしていきます。今後、「シグネチャーパビリオン」の実現に協力していきます。



©steAm Inc. & Tetsuo Kobori Architects All Rights Reserved

■リンク

- ・シグネチャーパビリオン「いのちの遊び場 クラゲ館」
(テーマ「いのちを高める」) Web サイト
(<https://expo2025-kuragepj.com>)
- ・EXPO2025 大阪・関西万博公式 Web サイト
(<https://www.expo2025.or.jp>)

【参考情報】

■「シグネチャーパビリオン」とは

テーマ事業は大阪・関西万博を象徴・代表する事業であり、8名の専門家が
つくるパビリオンは、テーマをそれぞれの哲学から語り深める「署名作品」でも
あることから、「シグネチャーパビリオン」と名付けました。8名のテーマ事業プロ
デューサーが大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を、そ
れぞれ固有の観点から解釈、展開し、未来に生きる人々に繋ぎ渡すパビリオ
ンを建設します。

■パビリオン名、テーマ、テーマ事業プロデューサー名

・Co-being

「いのちを響き合わせる」 宮田 裕章 (慶応義塾大学教授)

・いのちの未来

「いのちを広げる」 石黒 浩 (大阪大学教授、ATR 石黒浩特別研究所
客員所長)

・いのちの遊び場 クラゲ館

「いのちを高める」 中島 さち子 (音楽家、数学研究者、STEAM 教育
家)

・null²

「いのちを磨く」 落合 陽一 (メディアアーティスト)

・いのち動的平衡館

「いのちを知る」 福岡 伸一 (生物学者、青山学院大学教授)

・いのちめぐる冒険

「いのちを育む」 河森 正治 (アニメーション監督、メカニックデザイナー、ビ
ジョンクリエイター)

・EARTH MART

「いのちをつむぐ」 小山 薫堂 (放送作家、京都芸術大学副学長)

・いのちのあかし

「いのちを守る」 河瀬 直美 (映画作家)